



## ■ 会員の皆様へ



謹んで初春のお慶びを申し上げます。また旧年中のご厚情に心より感謝いたします。昨年は4月の天皇陛下ご退位、5月の新天皇陛下ご即位、11月の大嘗祭など御代替わりに伴う大きな儀式がございました。華やいだ雰囲気の中に過ぎた令和元年でありました。一方都草では、地道な会員活動に加えて様々な社会的活動を積み重ねてまいりました。例えば、京都府立京都学・歴彩館での都草講演会、上京区140周年記念事業の「京都御苑での上京大茶会」や「上京de婚活」への協力。その他にNPO法人奈良まほろばソムリエの会様との情報交換会。5年ぶりに一新した都草パンフレットの作成。

都草は様々な形で京都の魅力を発信しております。まず京都御苑歴史散策ツアーのガイド。旧議場土曜講座や京都検定受験者対象の講習会。『月刊京都』—京都ふしぎの玉手箱—（令和元年7月より連載開始）。まさに都草だからこそできる3つのコンテンツです。

これからも会員の皆様が、ご自分の大好きな京都を大いに発信してくださることを願っております。そして来年の都草創立15周年に向けて、皆様と共に都草の未来を考えていきたいと思っております。

本年も、ご指導とご協力の程どうぞよろしくお願いいたしますと友に皆様のご多幸をお祈り申し上げます。  
(理事長 小松 香織)

## ■ 2020年 都草新年会によせて



令和を迎えて初めての新年会が京都東急ホテルで開催され、46名が参加しました。今回は都草の生き字引ともいえる山本喜康会員と坂本孝志特別顧問による対談からスタート。「私の京都」と題して山本会員の京都への熱い思いが語られました。近年京都の童歌や数え歌が聞かれなくなったので、都草で継承してほしいとの山本会員の思いから、幼い頃に流行った手遊び歌「せっせっせ 大祿年々」を所作を交え紹介しました。

京都の路地や辻子について、「路地仙人」と呼ばれておられるほど路地に詳しい経緯や、ポンソンビー氏や、ヴォーリズ氏など山本会員ならではの話をしてくれました。

それから小松香織理事長の挨拶、井上満郎顧問のご挨拶に続き、田村光弘専務理事の発声で高らかに乾杯しました。余興は都草の芸能プロダクション代表ともいえる福井大作監事による手品でスタート。先日、須田清司理事が出演したBSフジの「名曲旅の詩」が会場に映し出されました。この番組で一躍都草のスターとなった須田理事から撮影のエピソードなどお話をしていただき、その後番組で流れた「女ひとり」を全員で合唱し、会場は大盛り上がり。

伊藤義男理事による詩吟「富嶽」が披露されるとアンコールが出るほどの素晴らしい美声に美酒とともに酔いしれ、飛び入りの歌などもあり名残り尽きない新年会となりました。

(理事 藤井 久美子)



## ■ 「新春子どもお茶会 ～百人一首であそぼ～」に参加して

令和2年1月5日に上京区の西陣の町家「古武邸」で「子どもお茶会」が開催されました。今年で5回目を迎えるこの催は伝統文化を後世に継承しようと「明日の京都・文化遺産プラットフォーム」と都草が主催するもので、午前と午後の2回に分かれて46名の子供たちが参加しました。

最初に町家「古武邸」を主宰する古武博司さんから、京町家は「職と住」が一体となったもので、道路に面して「店」が構えられ、その奥に「住まい」が造られていると町家の成り立ちの説明があり、みんな熱心に聞き入っていました。

百人一首のかるた取りでは、まず宮川恭子会員より上の句と下の句の説明が行われ、安田富枝会員が読みあげると子供たちは元気よく大きな声を出して札をとっていました。中にはたくさん札をとる子供もあり、対戦を楽しんでいました。

かるた取りの後は「梅」の銘のついた華やかなお菓子と抹茶が振舞われ、新春らしい文化を堪能していただきました。参加した子供達は誰もがキラキラと輝いていたことが、今回初めてお手伝いをして伝統文化を継承するための有意義な催しであったと感じ入りました。(会員 佐竹 典子)



## ■ ライフデザイン阪急阪神でカルチャー講座



ライフデザイン夙川サロン



ライフデザイン箕面サロン

昨年春、大阪に本社があるライフデザイン阪急阪神から、運営しているシニア向けの会員制サロンで「京都学」のカルチャー講座の依頼がありました。京都の魅力を発信するいい機会であると思い、4月から夙川と箕面のサロンでお話しています。大変好評で、今年1月からは宝塚も追加されました。

サロンですので人数も20名前後、テレビに画像を映して講座を進めます。お客様は食い入るようにテレビを見つめます。話す方もお客様の様子を見ながら語りかけます。これまで「狩野派の絵師」「若冲」など美術関係や、「平安京の成立」「新選組」など歴史に関するお話をしてきました。

終了後、お茶をいただきながら歓談します。まさにサロンです。先日、「即位の礼で安倍首相が万歳三唱をしていましたが、いつごろからあったのですか？」という質問があり、担当者は目を白黒していました。家では誰にも聞けないので、このような機会に質問されたそうです。素晴らしいことです。次回にはこの答えを持って行かなければなりません。このようなキャッチボールが次につながる大切な種まきになります。皆さんならどう答えるでしょうか？

我々の新しい活動の場ができました。会場は少し遠いですが、京都の語り部として阪神地区の方たちにも京都の魅力を伝え、京都大好き人間を増やすことができるようにがんばります。(専務理事 田村 光弘)